

Globalization begins within

グローバル化はあなたの心の内から

 青山学院大学 国際政治経済学部

2023

# SIPEEC

School of International Politics, Economics and Communication

*Globalization begins within*



青山学院大学  
国際政治経済学部

国際政治経済学部は  
2022年に40周年を迎えました



[https://www.aoyama.ac.jp/post02/2022/news\\_20220629\\_01](https://www.aoyama.ac.jp/post02/2022/news_20220629_01)

2022年7月発行

世界の課題を解決するために「深める」「高める」

# 専門性 × 国際性

青山学院大学国際政治経済学部が

他の多くの国際教養系の学部・学科と一線を画すのは、  
専門性の重視ということです。

本学部では国際政治学、国際経済学、国際コミュニケーション学を  
個々の分野で深く学び、

さらに3分野を有機的に結びつけて統合的に学びます。

同時に、単なる外国語習得に留まらず、

国内外で多様な人々と協働し、

新しい価値を創造するための、

コミュニケーション力を養います。

深い専門性に裏付けられた課題発見・解決能力、

そして高いコミュニケーション力を培います。

これこそが国際政治経済学部の目指す「グローバル」です。



## Globalization begins within

IT技術の発達や人工知能の発展は私たちの日常生活を益々便利なものにし、ネットワーク上で世界の誰とでも意見交換することを可能にしました。しかし、世界のあらゆるところで紛争は繰り返され、想定外の災害も頻発し、より不確実な世の中になってきています。

グローバリゼーションは心の内から始まります。今こそ、国、言語、民族、習慣、ジェンダーによる違いを越えた共生・協働が私たちに求められています。学生一人一人が他者を尊重し、多様性から新しい価値を創造し、真のグローバルリーダーとして社会にはばたいていけるよう私たち国際政治経済学部は共に歩んで参ります。

国際政治経済学部長  
末田 清子  
SUEDA, Kiyoko



## 教育の特色 1 | 深い専門性

### 専門知を磨き、統合知を獲得する

グローバルな課題を解決するために必要な国際政治、国際経済、国際コミュニケーションの専門的な知識や洞察力。さらに、これらを統合的に理解し、国際社会を見通す力。本学部では、3学科5コース制で学問的な専門性を磨きつつ、専門の垣根を越えて多角的に物事を捉える力を養います。

3学科5コース

▶ PP.03-04

### 「知」を集め活用する力を培う

少人数ゼミをはじめ、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート、グループワークといった学びのスタイルを多くの授業で取り入れています。それは自ら問いを発し、その問いを仲間と共有しながら学問的に解決していくプロセスを重視しているからです。

1から4年次へと続く少人数ゼミ

▶ PP.05-06

## 教育の特色 2 | 高い国際性

### 英語で考え、協働する力を身につける

「国際」に特化した学問領域や国際理解科目に加え、国際問題や時事問題をベースとした外国語プログラム、70を超える専門科目の英語講義や豊富な留学・海外研修などを通して、ユニバーサルなコミュニケーション能力を高めます。

英語で学ぶ専門科目

▶ PP.07-08

世界を舞台に活躍する人材を育てる

▶ PP.09-10

海外で学ぶ豊富なプログラム

▶ PP.11-14

国際政治経済学部は、以下の資質をもった学生をお待ちしております。

- 国際社会の動向およびあり方についての知識と関心を有している。
- 自らの力で主体的に思考し、判断し、表現できる。
- 学びを通じて他者と積極的に協力・協働し行動する意欲を有している。

国際政治経済学部3学科のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）については以下をご確認ください。

[www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/)

※2022年7月時点での情報です。  
内容は変更となる場合がございます。



# 専門知を磨き、 統合知を獲得する 3学科 5コース

## 世界の課題を解決する知を得る

### 政治・経済・コミュニケーションを学ぶ

- 国際政治経済学部生として求められる、国際問題を考える基礎と幅広い視野を身につける

### 専門性を深めるコース選択

- 希望に合ったコースを選択し、各分野の専門性を深める ……2年次

### 自由に学べる、ゼミを選ぶ

- 基礎と専門性を課題解決力に変えるゼミ。所属する学科にとらわれず自由に選ぶ ……3年次
- 学ぶ意欲に応じて、学科・コースの枠を超えた科目を履修する

## 国際政治学科

国際社会の多様な現実を知り、問題解決力を身につけ、自らの考えを発信する



### 政治外交・安全保障コース

- 主要国家や地域の視点から国際政治を分析
- 国際政治問題の分析と解決提言を行う

### グローバル・ガバナンスコース

- 全球的視野から新たなガバナンスのあり方を検討
- 地球規模の課題を分析し、問題解決を模索

#### 学科科目例

国際関係論入門/政治理論入門/アジア政治入門/環太平洋政治入門/アメリカ政治入門/ヨーロッパ政治入門/中東政治入門/アフリカ政治入門/国際交流実務論/政治分析概論/政治外交・安全保障概論Ⅰ・Ⅱ/グローバル・ガバナンス概論Ⅰ・Ⅱ/国際政治経済学概論/国際関係史概論/国際法概論/データ分析概論/政策過程概論/政治過程概論/政治学方法概論Ⅰ・Ⅱ/国際機構概論/国際NGO概論/日本の外交/日本の防衛/国際安全保障論Ⅰ・Ⅱ/比較政治論/日本政治論Ⅰ・Ⅱ/中国政治論Ⅰ・Ⅱ/アジア太平洋政治論Ⅰ・Ⅱ/アメリカ政治論/国際法Ⅰ・Ⅱ/外交史Ⅰ・Ⅱ/国際関係理論/政治思想史/国際正義論/計量政治分析/国際政治経済論Ⅰ・Ⅱ/国際制度論/国際平和協力論Ⅰ・Ⅱ/EU論Ⅰ・Ⅱ/国際環境論Ⅰ・Ⅱ/国連研究/ジェンダーと国際政治/人の移動と国際関係 など

#### 演習論文テーマ例

- 日米による防衛協定の歴史と現在
- 民主主義国家は権威主義国家に倣うべきなのか—新型コロナウイルスの各国政府の対応を比較して
- アメリカとLGBTQ—アメリカはLGBTQフレンドリーな国といえるのか
- Does Accepting More Immigrants Lead to Economic Growth?
- Democratic Consolidation in Japan

#### Vision of the Future

国際機関や公的機関、国際的な企業に就職するなど、  
広く国際社会に関わりたい

## 国際経済学科

世界経済・経営が直面する新たな潮流をつかみ、  
確かな分析力を身につける



### 国際経済政策コース

- 国、産業レベルでの国際的経済問題を分析
- 経済理論に基づいた政策提言を行う

### 国際ビジネスコース

- 国際ビジネスや経済活動に対する視点を身につける
- 企業行動や企業マネジメントなどを実践的に分析する

#### 学科科目例

経済学入門(ミクロ)・(マクロ) / 国際ビジネス入門/グローバル経済史/開発経済学入門Ⅰ・Ⅱ/社会科学のための情報と組織の経済学/ビジネス・マネジメントⅠ・Ⅱ/グローバル経営論Ⅰ・Ⅱ/金融Ⅰ・Ⅱ/ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ/ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ/国際産業論Ⅰ・Ⅱ/国際マーケティングⅠ・Ⅱ/ビジネス・エコノミクス/多国籍企業論Ⅰ・Ⅱ/ファイナンスⅠ・Ⅱ/政治経済実証分析/国際環境経済学/地域研究(アジア経済)Ⅰ・Ⅱ/地域研究(EU経済)/地域研究(アメリカ経済) など

#### 演習論文テーマ例

- 箱根駅伝の経済効果分析
- Way to Healthy Society: Problems and Possible Reforms to Make National Health Insurance Sustainable
- フェアトレードのからくり
- オリンピック開催に伴う経済効果
- 恋愛とスポーツ

#### Vision of the Future

国際金融や発展途上国の経済開発に携わったり、  
企業に就職して国際ビジネスの舞台で活躍したい

## 国際コミュニケーション学科

異文化を理解し、人と人、人と社会、社会と社会をつなぐ  
コミュニケーションを理解する



### 国際コミュニケーションコース

- 「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」の3つの視点からグローバル社会の課題を考察する

#### 学科科目例

国際コミュニケーション総論Ⅰ・Ⅱ/コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/国際ビジネス・コミュニケーションⅠ・Ⅱ/パブリック・リレーションズ/インターカルチュラル・トレーニング/広告コミュニケーション論/現代社会とジャーナリズム/コミュニケーション研究法の全体像/コンピュータによる調査データの解析/アンケート・社会調査の方法/言語科学概論Ⅰ・Ⅱ/社会言語学入門/言語の仕組み/多言語社会とコミュニケーション/実践・通訳コミュニケーションⅠ・Ⅱ/翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ/Culture and Society / Intercultural LiteracyⅠ・Ⅱ/宗教文化論Ⅰ・Ⅱ/文化研究概論Ⅰ・Ⅱ/ヨーロッパ文化論Ⅰ・Ⅱ/スペイン文化論/ロシア東欧文化論/中国文化論 など

#### 演習論文テーマ例

- 在留ベトナム人留学生の対日本人社会的距離・逆社会的距離に関する研究 —インタビュー調査を通じて—
- Cultural Differences in the Conflict Resolution Strategies of Japanese Couple and that of International Married Couples
- 映画にみる日本語の性差の変遷
- アニメ視聴度による思いやり傾向の比較と遠慮察しコミュニケーションの関連性について
- 若者世代が担うこれからの日中関係の展望 —雑誌「知日」を通して—

#### Vision of the Future

マスコミ、商社、サービス業、金融業はもちろん、  
海外協力事業団、国際交流事業、通訳・翻訳業界に挑戦したい

詳しくは大学Webサイト(www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/curriculum/)をご覧ください。



# 「知」を集め 活用する力を培う

単に知識を得るだけでなく、自ら課題を発見し、仲間と共有しながら学問的に解決していく  
能動的な学びを重要視しています。その軸が、1年次の入門セミナーから3・4年次の演習へと続くゼミ。  
3・4年次の演習は一学年あたり平均6名と少人数です。

## 1から4年次へと続く少人数ゼミ



陳ゼミ風景



陳ゼミのメンバー。  
ディスカッションしたり、お互いを高め合う存在。

### 1年次

#### 入門セミナー

専門分野への導入と  
学習の方法やスキルの獲得

本学部で学ぶ専門分野について、様々な角度から触れる  
ことによって、その概要を把握します。  
また、資料文献の読み方、レポートの書き方、プレゼン  
テーションやディスカッションの方法など、大学生とし  
て必要なスキルを演習形式の能動的な学習によって身  
につけます。

### 2年次

#### プリゼミ

専門知識の修得  
論理的思考力・表現力の獲得

専門的な学びへの導入期間。少人数制のクラスで、1年次  
に関心をもった分野の教員と連携しながら、専門知識を  
築きます。研究・プレゼンテーション・ディスカッション  
などを通して論理的思考力・表現力を培い、専門的な研  
究へつなげていきます。

### 3年次

#### 演習

課題解決力の育成  
専門知識と思考力・表現力を結びつける

学科にこだわることなく個々の学習目標に合わせ自由にゼミ選択  
が可能です。平均6名の少人数クラスにより、研究発表や討論中心  
の授業が展開されます。  
専門分野を深める過程で、幅広い視野の獲得、論理的思考力、表現  
力を身につけ、課題解決能力を養うと同時に、将来の方向性を見い  
だしていきます。また、卒業に向けて、研究テーマを深化させ、演習  
論文にまとめます。

### 4年次

#### 演習論文

#### ゼミテーマ例

※詳しくはP.21の教員紹介をご覧ください

- | 国際政治部門  | 国際経済部門   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アジア太平洋の国際関係</li> <li>■ 国際社会における法の支配</li> <li>■ グローバリゼーションの政治経済学</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本経済および国際経済問題の実証的研究</li> <li>■ 企業活動のグローバル化と通商政策論</li> </ul> |
| 国際コミュニケーション部門   | 国際マネジメント部門   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Intercultural Communication in Multicultural Societies</li> <li>■ ことばと社会の相互作用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業経営と価値創造</li> </ul>  |

廣瀬さんの  
4年間



#### 入門セミナー

あらゆる題材の中から、課題を発見し、整理して考え抜く  
力をつけるセミナーです。  
隔週で講義を聴き、グループディスカッションで問題  
点を明らかに。翌週のセミナーでプレゼンテーション  
を行います。自分たちでゼロから作り上げる授業とい  
えます。

#### HIROSE'S Voice

基礎を習得したうえで、  
専門知識を広げ、深める

学生のリテラシーとなるレポートやプレゼンテーショ  
ンの手法を学べるのが前期の入門セミナー。クラスメ  
イトとチームを組んでディスカッションを重ね、プレ  
ゼンテーションまで行うスタイルなので実践的な経験  
を培うことができます。後期は経済分野でのさまざま  
な専門家による講義を受け、知識の幅が広がりました。



#### プリゼミ

国際経済学科  
教授 加治佐 敬

ゼミ方式の授業で重要なことは、書かれていることや  
議論の理解だけでなく、それを批判的に検討しさら  
には建設的なコメントを出すことです。この授業では、課  
題図書の本論を上記の視点で検討・コメントする訓練  
をします。今年度は、下川哲『食べる経済学』と神門善  
久『さよならニッポン農業』を読みます。前者は、食を通  
して世界経済、貧困、健康問題を考えます。後者は、農業  
を通して日本の将来を考えます。

#### プリゼミ履修者の声

「プリゼミで学んだ科学的アプローチの手法は、今も自  
分の基礎力として役立っています。」  
「プリゼミでは、わからないことをみんなで一緒に考  
え、意見交換をすることで、自分にはない視点や考え方  
に気づき、とても刺激を受けました。」

#### 演習

#### 中国の社会と文化

国際コミュニケーション学科  
教授 陳 継東

中国を含む中華圏の社会と文化  
の諸現象を関連づけて理解し、  
課題発見・問題解決の能力を養  
うことを目標とする



変貌する現代中国の社会と文化を幅広く眺め、総合的で現実  
に即した理解の形成を目指します。中国に関する知見に立脚して日本や世界を見る  
ことが可能になれば、日本や世界についての新たな可能性も見えてくる  
でしょう。テーマの範囲は中国の文化、社会、思想、宗教、言語などで、台湾  
や香港など中国語圏の社会と文化をも視野に入れていきます。基礎知識と  
研究方法を身につけた上で、文献資料の講読や映像資料の視聴、さらに現  
地見学などを行い、個人発表やグループワークを通じて研究成果を積み  
重ね、最終的に卒論を仕上げます。

#### 多様な考え方に触れ、視野を世界に広げられる環境

私は日本国内に留まらず、よりグローバルな視点を持ちたかったこと  
から国際政治経済学部へ進学しました。現在は、中国の社会や文化を専  
門とする陳継東先生のゼミに所属し、「中国経済と不動産」というテ  
マで卒論制作を進めています。中国と日本との相違点・共通点を知る  
体験を通じて、その先にある世界各国との比較にも知見が及び、視野  
を広げられたのは大きな学びでした。1年次に入門セミナーの初回で  
「大学に在籍(進学)することに意味はあるのか?」というテーマのレ  
ポートを書いたことは、今でも印象深い思い出です。当時は、自分の書  
きたいように書いていたのですが、今なら読み手のことを考えつつ、そ  
の意義を自分の言葉で自信をもって伝えられます。

Profile  
国際経済学科 国際ビジネスコース 4年  
廣瀬 早希さん  
HIROSE, Saki

子供の頃から会計に触れる機会が多く、大学入学時にはお  
金の流れや会計に興味を持つ。卒業後はM&A  
企業に就職。大学での学びを実践につなげ、  
日本の中小企業が持つ優れた技術力を最大限に  
活かせるような環境づくりに貢献していく。



# 英語で考え 協働する力を身につける

本学部では、英語で論理的に考える力、英語を使って協働する力を身につけ、グローバルな課題を解決するための人材育成を目指しています。  
全クラス20人以下で、授業の多くが英語で行われています。  
また、入学時のTOEIC®学内試験の結果をふまえた能力別のきめの細やかな授業を行っています。

## 学びの特徴

国際問題や時事問題などの実践的な題材を通じて、Listening、Speaking、Reading、Writingの4技能の向上を図ります。  
また、論文作成やビジネスの場で通用する、アカデミックな英語力の育成を目指しています。

Listening

Speaking

4技能の強化

Reading

Writing

Contents Based

国際問題や時事問題などの実践的な題材

## 英語授業カリキュラム

学年が進むと、英語で論文を書くクラスや、通訳者・翻訳家による指導を受けるクラスを通して、アカデミックな能力と高度な実践的スキルを伸ばすことができます。  
また、数ある専門科目を英語で学ぶ機会も多く設けられています。

1年次

【必修】

- Writing I・II
- Reading I・II
- Media Literacy

- Public Speaking
- Internet English
- Debate & Discussion

2年次

【必修】

- Writing III・IV
- Reading III・IV

- Academic English
- English Seminar

3年次

【選択科目(科目例)】

- Academic Writing
- Academic Listening
- Academic Presentation Skills
- 通訳の理論と実践 I・II
- 翻訳の理論と実践 I・II
- 英語の音声

- Business Communication I・II
- Media Communication
- Cyber Communication
- Negotiation Communication
- Conference Communication

専門科目(英語講義)

# 英語で学ぶ専門科目

## 英語で学ぶ

100を超える英語講義・専門科目を英語で学ぶ

### point 1

#### 英語での理解力・発信力UP

英語で日常的に思考し、海外からの留学生と机を並べて英語で討論し、また英語でレポートを作成するなど、専門分野の英語力を強化します。国際政治経済学分野の用語には、例えばaccountabilityのように欧米由来のものが多く、「説明責任」と訳して学ぶより、英語でそのまま理解するほうが効率的な場合があるのです。

### point 2

#### 留学準備に最適

専門科目を英語で学ぶことで、留学先で英語環境にスムーズに溶け込むための準備ができます。留学帰国生あるいは海外留学経験者は、海外で鍛えた英語の能力をさらに伸ばしていくことができるでしょう。また、海外留学・海外大学院進学相談室で留学に関する専門家のカウンセリングを受けられるなど、本学部ならではの特典もあります。

### point 3

#### グローバル環境に対応した教員陣

教員のうち博士号取得者が43名、うち海外学位取得者が26名と、その数は私立大学学部の中でも群を抜いています。さらにアメリカ、中国、韓国、ロシアなどの国籍をもつ教員もおり、各地域への留学の相談に乗っています。このように、本学部はこれからも、グローバル系学部の草分けとして進化を続けていきます。

### 英語で実施される科目例

Culture and Society  
Intercultural Communication  
Global Studies I～VIII  
Structure of Japanese  
アメリカ政治論  
グローバル・ガバナンス概論II  
グローバル経営論 I・II  
マクロ経済学 I・II  
ミクロ経済学 I・II

異文化コミュニケーション特講 I  
国際コミュニケーション総論 I・II  
国際マーケティング論 I・II  
国際機構論 I・II  
国際経済 A・B  
国際経済政策入門  
国際正義論  
国際平和協力論 I・II  
国連研究  
戦略論 II

社会言語学特講  
多国籍企業論 I・II  
地域研究(アメリカ経済)  
地域研究(EU経済)  
日本政治論 I・II  
日本文化論  
米圏概論  
プリゼミ  
演習 I A・I B / II A・II B

## Global Studies Program

### グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)

卒業要件132単位の1/3～半数を英語で学ぶプログラムです。修得単位数に応じてSilver Course、Gold Course※として修了証が授与されます。英語により行われる専門科目のほか、協定校留学、短期海外研修で修得した単位等が対象となります。

※Silver Courseは40単位以上、Gold Courseは66単位以上が修了要件です。



## VOICE グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP) 選択者インタビュー

### 将来役立つ英語力と国際的視野が着実に身に付く

GSPを選択したのは、卒業要件単位の3分の2を英語講義で受ける、というところに魅力を感じたからです。英語講義とは、英語を学ぶ授業ではなく、英語を使って学ぶ授業です。そのため、使う教材や先生の話だけでなく、授業内で学生同士が会話をするときも、英語を使います。このような、まさにオール英語の環境の中に自分を置くことで、主体的・実用的に英語を使う能力を培うことができます。このスキルは、将来絶対に役に立つと思います。私は、初めは学生同士のディスカッションを英語で行うことに難しさを感じましたが、しばらくするとスムーズに英語で会話できるようになり、自分の英語力が上達したと感じました。また、英語講義の授業では、日本人だけでなく、留学生などさまざまな文化的背景を持った人たちが多くいます。そのような人たちと仲良くなる機会が増えるので、いろいろな文化を知ることできます。英語や国際交流、異文化理解に興味のある方は、登録してみたいかがでしょうか。



国際コミュニケーション学科  
国際コミュニケーション  
コース 2年  
上村 星名さん  
KAMIMURA, Seina

# 世界を舞台に活躍する人材を育てる

## 卒業まで続く英語の学び

### English for Juniors and Seniors について

本学部では、「3年生、4年生が履修できる英語のスキルを上達させる科目を開講して欲しい」という学生の声に応じて、「English for Juniors and Seniors」という英語プログラムを開講しています。近い将来社会に出て行く3年生、4年生が履修する授業であることに鑑み、学生の研究に資する能力、社会に出ても有用なものとして残る能力の獲得・向上に焦点を当てる科目を提供しています。

VOICE

授業担当教員の声

Academic Presentation Skills  
勝又 恵理子 准教授 KATSUMATA, Eriko

デンマーク・オーフス大学(Aarhus University)とのCOIL型教育を活用した協働学習から学ぶプレゼンテーション能力と異文化理解の向上



多様な文化が共存する社会になり、様々な文化背景を持つ人の前で英語プレゼンテーションをする機会が増えています。本コースでは、国際的な社会で役立つ実践的な英語によるプレゼンテーション能力を向上させること、そして質疑応答を通して英語でのディスカッション能力を養うことを目標としています。

その一例として、デンマークのオーフス大学とCollaborative Online International Learning (COIL)型教育の一環として非同期・同期型交流を通じて、自国の文化や社会問題についてのディスカッションを行います。本学部生はデンマーク文化について英語で発表、オーフス大学生は日本の社会問題を日本語で発表することで、グローバル教育を実践し、実体験としての学びに繋げることができます。



講義内容を  
チェック

## 第二外国語を通して拓くグローバルな視野

### 第二外国語について

広く国際的な視野を育てるために、英語以外の外国語として、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語からひとつを選択して学習します。

言語運用能力を養うだけでなく、異文化理解を深めるために、各言語の文化について学ぶ授業もあります。どの言語も1年次には未修の学生がほとんどですが、中には、2年次または3年次から、その言語を使用する国へ交換留学できるほど上達する学生もいます。

VOICE

授業担当教員の声

中国語文献精読 I  
橋本 秀美 教授 HASHIMOTO, Hidemi

外国語文献を大量に読みこなし、外国語に体を馴染ませる。

本学部では、第二外国語は6単位が必修とされていますが、それだけでは実用に堪えるレベルには至りません。現在では、字幕を伴った外国語動画がネット上に大量に存在し、無料で簡単に視聴できますから、6単位履修した基礎の上に、会話能力を高めていくことは容易です。しかし、文章語の場合は、字幕やフリガナを付けて分かり易くするという方法が無く、大体分かる気がしても、実は十分に出来ていない、ということになりがちです。この授業では、現在の自動翻訳では十分に正確に翻訳されない文章を大量に読んでもらっています。段落ごとに読解のポイントを解説して、中国語の文章の作られ方を体得してもらおう心掛けています。山登りのようなもので、ガイドについてもらって難所を乗り越える経験を繰り返せば、後は一人でも登っていけるようになります。



講義内容を  
チェック



# 海外で学ぶ豊富なプログラム

## 青山学院大学の 留学制度

青山学院大学には、休学することなく長期留学が可能な「協定校留学」(交換留学)と「認定校留学」(自分が希望する大学を留学先として申請する制度)があります。毎年本学部から40名程度(※)の学生が協定校・認定校への派遣交換留学を経験しています。また、夏期・春期を利用した海外語学・文化研修や海外インターンシップなど豊富なプログラムに加え、奨学金制度も用意しています。

※2019年度までの実績に基づく。2021年度後期より派遣再開。

### ■各国の協定校数

アジア		英語圏		中南米		ヨーロッパ					
韓国	11	フィリピン	1	オーストラリア	6	エクアドル	1	フランス	9	ブルガリア	1
中国	9	インドネシア	1	ニュージーランド	1	メキシコ	2	スイス	1	ウクライナ	1
台湾	3	ブルネイ	1	カナダ	4			ドイツ	7	ロシア	2
ベトナム	2	マレーシア	3	アメリカ	42			スペイン	4	フィンランド	2
タイ	6	インド	1	イギリス	5			ハンガリー	1	イタリア	2
ミャンマー	1	モンゴル	1	アイルランド	2			ポーランド	2	スウェーデン	1
		カザフスタン	1					スロベニア	1	オランダ	2

## エセックス大学 ダブルディグリープログラム

### ダブルディグリープログラムとは？

4年次後期から1年間、エセックス大学大学院(イギリス)へ留学することで、4.5年で青山学院大学の学士とエセックス大学の修士の学位を取得できるプログラムです。



参加学生は、MA(文系)だけではなく、MPP(公共政策修士)やMS、MSc(理系)を取得できるコースにも所属可能です。2021年度にこのプログラムを修了した最初の卒業生は、エセックス大学のGovernment Departmentに所属し、MSc Social Data Scienceの学位(Distinction付き)を取得しました。さらに、修士コースでの最優秀賞をも受賞しています。このように文系の学部から理系の修士を修得できるなど、多様な選択肢の中から、自身の専門分野を深めることができます。

### ■所属コース例

- ・ MA Politics
- ・ MA Political Theory
- ・ MA Political Economy
- ・ MA Political Science
- ・ MA Economics
- ・ MSc Social Data Science
- ・ MPP Public Policy
- ・ MA Linguistics
- 他、複数のコースを用意。

MA…文系修士 MPP…公共政策修士 MSc…理系修士

### ■こんな方におススメ

- ・ 海外大学院での修士号取得や研究職を目指す方
- ・ 国際機関や外資系会社等への就職を希望している方

### ■派遣実績

- ・ 2020年度 1名(オンライン留学)
- ・ 2022年度(予定) 2名

### ■留学先情報/エセックス大学(イギリス)

#### point 1 質の高い教育

社会科学分野において世界で高い評価を受けている。

#### point 2 国際色豊かな環境

学生の約40%が留学生で、130カ国以上の国々からの留学生を受け入れている。



## VOICE 留学体験者インタビュー

### 新しい文化に触れ、自分の世界を広げる

[留学先] ガウチャーカレッジ(アメリカ)

異なる文化に触れる・新しい考え方に会おう、このふたつを達成するために協定校留学に参加しました。私が過ごしたメリランド州にあるガウチャーカレッジという大学は、小規模ながらも50もの国からの留学生や学部生が在籍しているリベラルアーツカレッジです。留学中は、いろいろな国の学生と共に寮生活を送り、ここに来なければ知り得なかった新しい文化に触れ、自分の思考や世界の見方をも変えてくれた出会いがたくさんありました。講義の内容も多岐に渡り、とても興味があったけれど日本では学ぶ機会が少なかった映画史についての授業は思い出に残っている授業の一つです。一歩日本を出ればこんな環境がある、考え方がこんなにも違う、という新しい発見ができたこのプログラムにとても感謝しています。このプログラムには、アジア圏や



ヨーロッパをはじめ、アメリカ以外にもたくさんの国の大学が協定校として登録されているので自分に合った理想の環境を探すことができるのも魅力だと思います。

国際コミュニケーション学科  
国際コミュニケーションコース 3年  
小原 満帆さん OBARA, Miho



## VOICE 国際交流プログラム(インドネシア受入)

インドネシアLampung大学の学生を本学の短期留学生として受け入れ、国際政治経済学部生がヘルパーとなり、留学生のサポートをおこないます。ヘルパー学生は、授業受講時のサポートや東京観光などのアクティビティを通じて異文化交流を体験し、海外留学とは違った視点で異文化理解を深めることができます。

### プログラム参加者の声

- 異なる様々な文化をもっと知りたいと思わせてくれました。また、留学のモチベーションになりました。
- プログラムを通じ、日本とインドネシアの文化の違いを学ぶことができ、お互いの国に対する理解が深まりました。

\*プログラムは2016年に開始し、2019年まで毎年実施。2020年はオンラインで実施しましたが、受入が可能となれば対面プログラムとして再開予定です。



※写真は2019年度にランブンプ大学の学生が本学に来校した時のものです

# 国際政治経済学部はオンライン・オフラインを 自由自在に切り替え、どのようなときも 学部独自の海外研修プログラムを実施しています。

## ハンドン大学(韓国)・国際政治経済学部協働短期研修

このプログラムは本学部の教員と韓国のハンドン大学の教員が協働で構築したものです。プログラムでは東アジアの経済、政治、文化、コミュニケーションを学び、現地学生との交流を深めます。ハンドン大学は、国際色豊かな、青山学院大学と同じくキリスト教に基づく教育を実践している大学です。人格教育の分野でも高く評価されており、IT、金融をはじめとする様々な業界でグローバルに活躍する卒業生を多数輩出しています。



## Missouri State University SDGsプログラム

### バーチャルトリップでSDGsを体験的に学び、考え、成長する

海外渡航が難しくなった現在、海外研修は諦めるしかないのでしょうか？—答えは、Noです。このプログラムでは、国連が定める持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals - SDGs)をテーマに、ミズーリ州スプリングフィールド周辺をバーチャルトリップで訪問し、現地のSDGsの取り組みの例を学び、その取り組みに携わる方々のお話を聞くなど、英語で体験的に学ぶことができます。3週間のプログラムでは、最終日の研究発表に向けてオンデマンド形式とリアルタイム形式で学習し、教員、メンターや現地学生との交流を通じて、英語でのインプットとアウトプットを繰り返しておこないます。プログラム終了後には、参加前よりも格段にスキルアップした英語力を実感できるでしょう。

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 2年  
伊藤 優希 さん ITO, Yuki

オンライン  
開催

### 良い契機を得ることが出来るオンライン留学プログラム

ミズーリ州立大学プログラムでは、旅行で行ったとしても味わうことのできない体験をすることが出来ます。もし私たちがミズーリ州に旅行へ行ったとしても、SDGsに参画する企業の裏側をのぞいたり、CEOに直接質問をしたりすることはできません。しかし、このプログラムでは環境保護をする会社やホームレスに家ごとあげる機関の責任者に話を聞くことができます。このシステムを日本にどうすればうまく導入できるのか、と考

える良いきっかけになりました。また、日本の問題だけでなく自分の関心がある地域の社会問題を知る良い機会にもなります。私は新大久保にいる移民コミュニティにおける問題を研究対象としましたが、太平洋を研究対象としている生徒や、アメリカのフードロス問題に着目している生徒もいた為、毎回のディスカッションで新たな視点を得ることが出来ました。



※写真はプログラムを対面で実施した時のものをミズーリ州立大学より提供

## ランブン大学(インドネシア)・国際政治経済学部協働短期研修

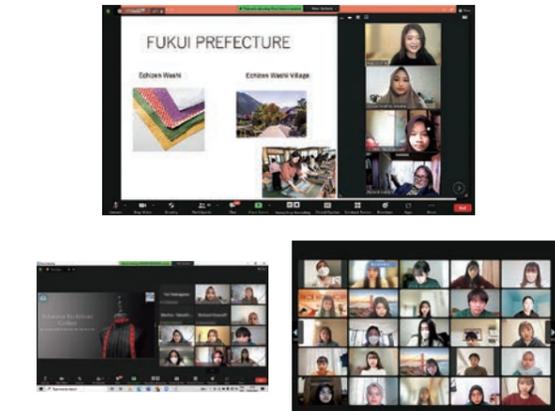
インドネシアのランブン大学と本学部の教員が協働で構築したプログラムです。インドネシアと日本の政治、経済、文化、コミュニケーションについて学ぶプログラムで、2020年度よりオンラインで実施しています。バーチャルで工場見学をしたり、ディスカッションを通じて学生同士からも多くを学びます。

国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース 2年  
野呂 道子 さん NORO, Michiko

オンライン  
開催

### 刺激を受けて、主体的な学びへ進化した7日間

一週間の研修では、ランブン大学と青山学院大学の先生方による講義を半分ずつ受け、インドネシアと日本の政治体制、経済、文化について、ディスカッションを行いながら学びを深めました。積極的に発言をするインドネシアの学生に刺激を受けて、日本の学生も主体的に議論に参加するようになり、意見交換によって毎回新たな視点を得ることができました。最終日には、両国の参加者がそれぞれプレゼンテーションを準備し、自国の文化を紹介する文化交流の時間をもちました。インドネシアの伝統衣装、食事、方言など初めて知ることばかりで、お互いにZoomのチャットを利用して、常に質問あったり、コメントを残したりと活発に交流しました。オンラインながら互いの国や文化について学び、交流し、尊重しあう特別なプログラムとなりました。



## 海外ボランティア実習

NPO法人 ICYEジャパン主催の海外ボランティアプログラム。活動地域はヨーロッパ、北中米、オセアニアの約30カ国にわたり、「環境保護」、「児童福祉」、「教師アシスタント」などのプログラムに参加します。国際コミュニケーション関連科目の学びと実践ボランティアを結びつけることで、知識や語学力の向上だけでなく、国際理解や異文化コミュニケーションのスキルを向上させることができます。



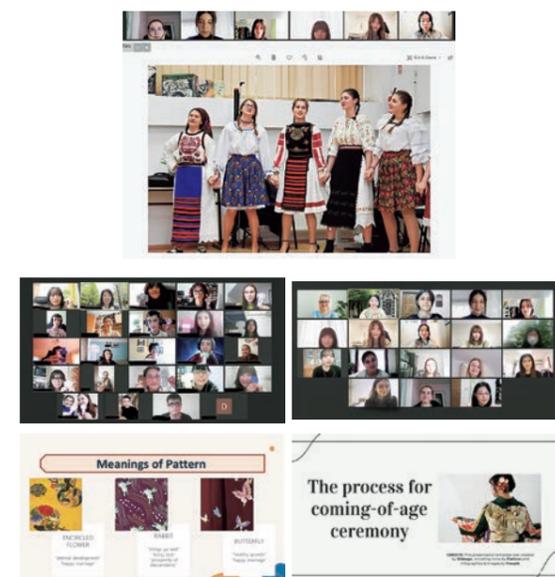
## その他の海外交流プログラム

## iEARN

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 3年  
國分 清夏 さん KOKUBUN, Sena

### 国際交流をもっと身近に

iEARN(International Education and Resource Network)は140か国以上に活動を展開するNPO団体で、SDGsに関連した多種多様なプロジェクトを立ち上げ、インターネットを介して国際協働学習の促進に従事しています。本学部に支部が設置されてから二つのプロジェクトチームに分かれて活動しており、私の所属チームは、自国の伝統衣装を取り扱う「Folk Costumes Around the Globe」にて中高生を対象に折り紙ワークショップを開催し、着物に加えて折り紙という日本文化も併せて紹介しました。また、絵本を用いて原爆投下を振り返り、平和構築について考察する「Machinto - Hiroshima for Peace」へも新しく参加し、セッションやポスターコンテストの計画を進めています。これらの活動を通して改めてオンライン交流の持つ可能性を感じるとともに、世界各地の若者と英語で意見交換する経験は非常に刺激になり、自身の視野の広がりを実感しております。また、プロジェクト計画には創造性や柔軟性が求められ壁に直面することもあります。その分毎回のイベントが成功した後の達成感はひとしおです。



進学動機や授業の様子を聞いてみよう

# 学生インタビュー

## 2年生 国際政治学科

貧富格差の解消や  
経済開発に携わる夢に  
着実に近づいている実感

土方 楓子さん  
HIJIKATA, Fuko  
国際政治学科  
政治外交・安全保障コース2年

### 幅広い分野に渡るカリキュラム

子供の頃から両親と東南アジアを旅するなかで貧富格差を目の当たりにし、格差解消や経済開発に興味を持つようになったことが、国際政治経済学部への進学を決めた理由です。1年次では政治・経済・文化について入門的なことを幅広く学び、春休みには「インドネシア研修」に参加。これは自分に不足している知識を具体的に気づかせてくれる貴重な経験でした。

### 想像以上に包括的な学びがここに

ここでは学科の壁がなく、各学科の授業を柔軟に受講できるので、想像以上に包括的な学びが実現します。現在、「日本の外交」という授業でお世話になっている阿部達也先生は厳しいことでも有名ですが、その分、アドバイスが丁寧で実力をしっかり伸ばす指導をしてくださいます。信頼できる先生をはじめ、帰国子女などの友人も多い刺激的な環境です。

### タイ留学は夢へと続く一歩

将来、成長めざましい東南アジアを舞台にビジネスを展開したいと考えている私は、今学期、留学制度を利用してタイへの留学を予定。今はその際に役立つような講義を意識的に選んだり、英語力を磨く時間を多く作ったりしています。一步一步、着実に自分の夢に近づけることができていると実感する毎日です。



### 時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1	Writing III		世界遺産入門			
2	地域研究(アジア経済) I	中国語 II A-1	エアラインビジネス	Global Studies V		
3			Reading III	文化人類学A	中国語 II B-1	グローバル経営論 I
4		アジア圏概論	日本の外交	English Studies C	Academic English	地域研究(EU経済)
5				プレゼミ	ジェンダーとフェミニズムA	

オンデマンド授業  
● 海外実地研修

## 2年生 国際経済学科

素晴らしい先生や  
お互いに高め合える仲間との  
出会いがある場所

鶴田 志絵瑠さん  
TSURUTA, Shieru  
国際経済学科  
国際ビジネスコース2年

### 意欲の高い学生が集まる環境

私の将来の夢は、父が起業した物流システム開発の会社を国際発展させること。その夢を叶えるために、青山学院の内部進学で国際政治経済学部を選びました。ここは内部生に一番人気の学部だということもあり、学ぶ意欲の高い学生が多いように感じます。難しい講義もありますが、お互いに助け合おうという雰囲気があり、テスト前にはみんなで自主的に集まって、夜遅くまで勉強会をしたことも。おかげで仲間としての絆が深まりました。

### 素晴らしい先生方との出会い

先生との距離も、学生に意欲さえあれば身近に感じられる環境です。テスト前に「オフィスアワー」という形式で講義外の質問に応じてくれた飯坂ひとみ先生、学部の新入生歓迎イベントで講演者にならないかと声がけくださった中川浩宣先生、学生生活全般に気を配ってくださる竹田憲史先生など、素晴らしい先生方との出会いがありました。

### 充実した留学制度で深まる学び

講義ではSDGsなど国際的に関心の高いテーマで実践的なアウトプットをするため、視野が広がることもロジカルな思考が養われる実感があります。今年8月からは協定校であるフロリダ大学へ留学。その後も、ダブルディグリープログラムによるエセックス大学大学院(イギリス)での修士号取得を目標にし、夢の実現につなげていきます。



### 時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1	Academic English	Reading III	フランス語会話(I)-1			
2	Global Studies III	フランス語II A-1	Writing III	Global Studies V		
3		金融 I		プレゼミ	フランス語 II B-1	
4		国際政治学 I				
5	アフリカ圏概論			英語圏の社会と文化 A		

オンデマンド授業  
● フランス文化論 ● 現代社会の諸問題(個別科目) ● イスラム文化論 ● 健康医学  
● 国際貿易 I ● 国際政治経済学 I

## 2年生 国際コミュニケーション学科

“漠然とした憧れ”を  
現実のものにする  
環境がここにある

芳賀 陽輝さん  
HAGA, Haruki  
国際コミュニケーション学科  
国際コミュニケーションコース2年

### 多彩な興味に応える仕組み

海外の大学に進学した両親の影響で、幼い頃から海外への漠然とした憧れがあったため、国際政治経済学部を志望しました。国際関係、国際政治から異文化まで幅広く興味を持っていた自分にとっては、学科の壁を越えてさまざまな分野について学べる体制や1年次からすぐ専門知識に触れられるカリキュラムが、とても魅力的でした。

### 貴重な体験に満ちた講義

印象的だった講義は、森田京子先生の「Reading I-II」。英語記事を読むだけでなく要約・発表し、同テーマのビデオを鑑賞するなどして多様な価値観を知りました。最終的なレポートで、ここで学んだ批判的思考力を発揮できたのも意義深い体験です。また、橋本秀美先生の講義は「生きた中国語」に触れる貴重な機会。講義外でも学生生活の充実のためのヒントを与えてくださる学生思いの先生です。

### 講義外でも実践力を養える

現在、国際政治経済学部直属の学生団体である「ジャーナリズム指導室」に所属し、副代表を務めています。ここでは数ある情報をファクトチェックする習慣や文章力など、社会に出てからも必要不可欠なスキルを伸ばしています。まだ明確な進路は決めていませんが、今後は留学も視野に入れ、「世界に通用する力」を身に付けていきたいと考えています。



### 時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1				Reading III		
2		中国語 II A-1		スペイン文化論	都市と文化 A	
3			Writing III	ヨーロッパ圏概論	中国語 II B-1	
4	Academic English				心理学 A	
5						

オンデマンド授業  
● イスラム文化論 ● コミュニケーション論 III ● フランス文化論 ● ドイツ文化論  
● 文学 A

学生一人ひとりの想いを実現する

# キャリアデザイン

本学部には毎年、グローバルな課題を解決したいという強い想いを抱く学生が入学してきます。

その想いを形にする論理的な思考力、異文化コミュニケーションスキル、グローバル課題解決に向けて実行する力を養うカリキュラムやプログラムを用意しています。同じ意識や目標を共有する学生が自主的に活動を行い、切磋琢磨する場として3つの学部公認学生団体を設置し、その活動を支援しています。

## 実践的なキャリア教育

<b>1年次</b>	<b>2年次</b>	<b>3年次</b>	<b>4年次</b>
演習科目 入門セミナー・プリゼミ ▶ p.05	演習科目 セミ ▶ p.06		
留学、インターンシップ ▶ p.11			
海外研修など ▶ p.13			

**特殊講義** グローバルな諸問題とその解決策を検討するために開設されている講義  
現役官僚や国際交流基金職員などが担当

**現場の第一線で活躍する講師による本学部の特別講義**

<p><b>国際交流実務論</b> 独立行政法人 国際交流基金 (The Japan Foundation) 国際交流に携わるエキスパートによる現場の視点に立った講義です。特に国際交流基金の3つの事業(文化芸術交流、海外での日本語教育、日本研究・知的財産)について認識を深めることができます。</p> 	<p><b>日本の外交</b> 外務省 日本の外交実務の第一線で活躍している外務省職員によるオムニバス形式の講義です。二国間・地域・地球規模のさまざまな分野にわたり、日本の外交の生きた姿を理解することを目標としています。</p> 	<p><b>日本の防衛</b> 防衛省 日本の防衛実務に精通した防衛省高官によるリレー式講義です。日本を取り巻く安全保障環境、国際情勢の認識、自衛隊の運用など日本の防衛政策に関する幅広い知識を習得することが目標です。</p> 	<p><b>国連研究</b> United Nations 現役の国連職員が英語で講義します。国際の平和および安全の維持を含む国際社会の諸問題は国連の立場・国連の視点からどのように解決されるのでしょうか。実践的な能力を養う絶好の機会です。</p> 	<p><b>特講</b> (クロスボーダーM&amp;A戦略論) E/ストラテジーアド・コンサルティング株式会社 戦略・M&amp;Aコンサルティングに従事している、現役コンサルタントによる講義です。日本・グローバル企業のクロスボーダーM&amp;A事例を教材に、M&amp;Aや戦略コンサルティングの概念に加え、基礎的な会計・ファイナンス・法務知識の習得を目指します。</p> 
--	--	--	--	---

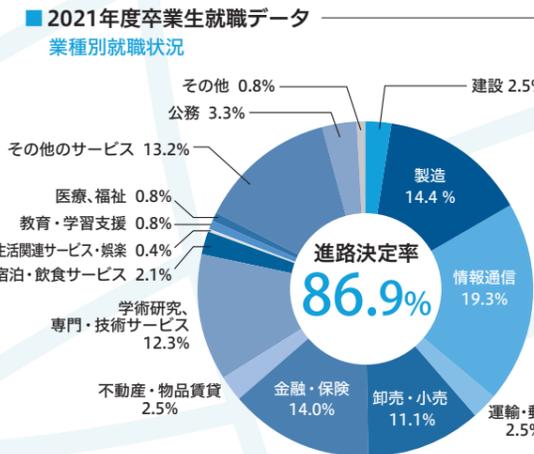
**学部公認学生団体**

<p><b>外交・国際公務指導室</b> 外交・国際公務指導室は、将来世界的な規模で活動して国際社会に貢献したいと考えている学生が集まり学び合う場です。異文化理解はもちろん、主体性や積極性、チャレンジ精神、柔軟性、使命感などグローバル人材に必要な資質を養うため、勉強会や講演会を行ってきました。コロナ禍の中断を経て、再開後は新たな試みに室員たちで挑戦したいと考えています。</p> <p>代表:国際経済学科 国際経済政策コース2年 YU YANG</p>	<p><b>ジャーナリズム指導室</b> これまでNHKや各社新聞社、共同通信などジャーナリズム業界に多くのジャーナリストを排出してきたJ室は、朝日新聞で長年論説委員や編集委員を歴任された隈元信一さんが講師を務められ、ジャーナリストに必要な作文能力の向上のための作文添削指導や、講演会などを通じたマスコミ研究を行う団体です。今世界は新型コロナウイルスのパンデミックやロシアのウクライナ侵襲などまさに時代の転換点といえるかもしれない出来事に直面しています。今こそ時代を冷静に見つめ、今を伝えるジャーナリストとして必要な力をJ室で学んでみませんか。</p> <p>代表:国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース2年 荻野 瑛士</p>	<p><b>SANDS (SIPEC &amp; SDGs)</b> 私たちは、「渋谷から世界へ」をモットーに、「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、大学生に何が出来るかを考え、活動しています。今年度は、世界食料デーに合わせた「飢餓ゼロ1016キャンペーン」での企画や講演会、教育機関への出張SDGsワークショップ、企業との共催イベントの運営を企画しています。また他団体との関わりを増やし、より対外的にSDGsを普及する活動を広げていきたいと考えています。SDGsの期限である2030年は刻々と近づいています。社会問題に関心がある方、国際社会でチャレンジしたい方、ぜひ一緒にアクションを起こしましょう。</p> <p>代表:国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース3年 津幡 真裕</p>
---	--	---

**社会調査士**  
社会調査士は、一般社団法人社会調査協会が認定する資格です。国際コミュニケーション学科において、社会調査協会認定の該当科目を履修すると、卒業時に社会調査士資格が取得できます。調査企画の立て方から、アンケートやインタビュー、統計処理などの調査技法を学び、報告書作成まで、実践的なトレーニングを行います。社会現象を科学的・客観的に捉える視点を養い、調査の専門家としての知識・技術を身につけることができます。この資格を取得した卒業生の多くが、調査会社に就職しています。

## 高い進路決定率を誇る国際政治経済学部

進路・就職センターと学部の教員が協力し、企業サイドの視点を理解するためのセミナーや、実践的な模擬面接などを数多く開催するなど、学生一人ひとりが自分の適性と将来の目標を十分考慮した上で就職活動に臨むことができるサポート体制を整えています。こうした取り組みが、優良企業や国際機関への就職と、学生本人が満足できる結果となってあらわれています。



- 公共団体などへのこれまでの就職実績**
- 【国際機関】**  
アジア開発銀行/国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) / 国際連合開発計画 (UNDP) / JPO / 世界銀行 / 国際連合世界食糧計画 (WFP)
  - 【国家公務員】**  
文部科学省 / 外務省 / 参議院外交防衛委員会調査室 / 農林水産省 / 東京国税局 / 東京入国管理局 / 会計検査院 / 環境省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 防衛省 / 財務専門官 / 海上自衛隊幹部候補生学校 / 防衛施設庁 / 海上自衛隊
  - 【その他】**  
国際協力機構 (JICA) / 国際交流基金 / 日本銀行 / 日本貿易振興機構 (JETRO) / 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 日本赤十字社 / 警視庁 / 独立行政法人国立印刷局

**就職者上位企業・団体**

楽天グループ株式会社	24	明治田舎生命保険相互会社	5	株式会社りそなホールディングス	3	三菱UFJ信託銀行株式会社	3
株式会社みずほフィナンシャルグループ	8	国家公務員・東京都	5	株式会社JALスカイ	3	損害保険ジャパン株式会社	3
日本生命保険相互会社	7	アクセンチュア株式会社	4	全日本空輸株式会社	3	日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社	3
PwCコンサルティング合同会社	7	株式会社三井住友銀行	4	株式会社JALUX	3	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	3
東京海上日動火災保険株式会社	6	トランス・コスモス株式会社	4	日本アイ・ビー・エム株式会社	3	株式会社TBグローバルマーケティング&トラベル	3
丸紅株式会社	6	アビームコンサルティング株式会社	4	日本電気株式会社	3	地方公務員(市町村)・神奈川県	3
三井住友信託銀行株式会社	5	株式会社三菱UFJ銀行	4	株式会社野村総合研究所	3		
SMBC日興証券株式会社	5	パーソルプロセス&テクノロジー株式会社	4	株式会社日立製作所	3		
日本銀行	5	株式会社レイヤーズ・コンサルティング	4	富士通株式会社	3		
日本航空株式会社	5	デジタルアドバイジング・コンサルティング株式会社	4	日本タカコンサルティングサービス株式会社	3		

## 大学院への進学

国際政治経済学研究科では、みなさんの関心とキャリアプランに即して、国際政治学、国際経済学、国際コミュニケーションの3専攻の中から一つを選び、専攻の学びを深めると共に他専攻の科目も履修することができます。国際政治経済学部4年次に大学院科目が先取りできる制度や、下記のような支援制度があります。これらを有効に活用してグローバルなキャリアを確かなものとしてください。

<p><b>■ 大学院科目特別履修</b></p> <p>学業成績優秀な第4年次生は一定の条件の下、10単位を限度として大学院授業科目の特別履修が可能です。大学院進学後、この制度で修得した単位を修了要件単位に含むことができます。</p>	<p><b>■ 就学支援</b></p> <p>【修士課程・博士後期課程共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学金、校友会費全額免除 (本学学部卒業、修士課程修了の場合)</li> <li>・各種奨学金</li> <li>・教育ローン</li> <li>・国際学会発表支援制度</li> </ul> <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備料全額免除 (本学修士課程修了の場合)</li> <li>・若手研究者育成奨学金 奨学金額:授業料年額の全額 ※条件有</li> </ul>	<p><b>■ 修了生の主な就職先企業・団体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パナソニック(株) ・日生産業(株)</li> <li>・(株)アクシーシア</li> <li>・日本アイ・ビー・エム(株)</li> <li>・Citigate Dewe Rogerson Japan(同)</li> <li>・(株)フロンティアコンサルティング</li> <li>・第一生命情報システム(株)</li> <li>・(株)椿本チエイン ・富士ソフト(株)</li> <li>・明治機械(株) ・(株)島津製作所</li> <li>・(株)ユーキャン・カレッジ</li> <li>・私立大学(教員)</li> <li>・ニッセイ情報テクノロジー(株)</li> <li>・(株)クロス・マーケティング</li> </ul>
--	--	--



## 海外に出ることで、人生が、社会が変わる

### 高官通訳としてやりがいを感じる毎日

防衛省に入省して今年で10年目。現在は、防衛装備庁にて諸外国との防衛装備・技術協力に関する任務に従事しています。2015年10月に設立された防衛装備庁は、防衛装備品の適切な開発や生産、維持整備など、日本の安全保障において極めて重要な役割を果たしている組織です。国家公務員の仕事は、それぞれの分野の専門知識に加え、高い調整能力や説明力が求められるため、今でも毎日が勉強の連続です。また、英語の専門職員である私は、個別の担当業務とは別に、防衛大臣をはじめとした高官の通訳業務を担っており、二国間・多国間の様々な重要な会議にも参加します。通訳は、高いスキルや集中力、精神力が必要となる難しい業務ですが、達成感や充実感も大きく、やりがいのある仕事だと感じています。

私がこんなふうに通訳しているのも、国際政治経済学部での学びがあったから。中等部から青山学院に通っていたので、周囲には帰国子女の同級生が多く、日頃から刺激を受けていました。しかし、私自身は大学で交換留学するまで、留学はおろか海外旅行にすら行ったことがなかったのです。国際政治経済学部のカリキュラムでは、じっくりと英語力を養えるため、帰国子女でない私でも着実に英語の実力を伸ばすことができました。

### 今も心に残る恩師からの言葉や学び

通訳の仕事では、単なる語学力だけでなく異文化間におけるコミュニケーションへの理解が欠かせません。例えば、話者同士が比較的よく背景知識を共有し、言語化しなくても通じることがある日本と、多文化で話者の背景知識の共有度が比較的低く、細かな言語化の必要なアメリカでは、コミュニケーションスタイルが異なります。こうしたことを私に教えてくださったのが、末田清子先生の「コミュニケーション総論」でした。この講義で理論的に理解したことを実践し、現在でも英語で話す際は、日本語で話すときに比べて言語化する内容を意識的に多くするよう心がけています。

国際政治経済学部の教授・講師陣には、海外生活の長い方や外国出身の方が多く、国際的な知見を得るにはとても良い環境です。私が在学中、交換留学制度を利用し、アメリカのサン・ディエゴ州立大学に留学した際は、サン・ディエゴ大学大学院の修士号を持つ抱井尚子先生から、さまざまなアドバイスをいただきました。そのとき抱井先生にかけていただいた「海外に出るなら(留学するなら)若ければ若いほどいい」という言葉が、今でも印象的です。インターネットやSNSの普及によって、海外がより身近になっている一方、我が国は“内向き志向”と言われて久しいです。しかし、実際に海外に出てみる体験は、私がそうであったように、きっと若い皆さんの人生に大きな影響を与えてくれると思います。自国を正しく理解・認識するにも、他国との比較は欠かせません。ぜひ一人でも多くの方に、海外を経験していただき、グローバルな視点を持って、様々な分野で活躍していただきたいと思います。そうすれば日本社会にもポジティブな変化があるのではないかと考えています。



防衛省 防衛装備庁  
装備政策部 国際装備課

**井出 祐樹さん**  
[2007年卒業]

### Profile

2007年、国際経済学科を卒業。民間企業などを経験した後、自らの力をより広く公益のために役立てたいという思いから2013年に防衛省入省。防衛政策局で安全保障法制の整備や各国との防衛協力・交流の推進などに携わる。2020年防衛省留学で英国大学院へ留学、修士号を取得。通訳業務で培った経験をもとに、今後は後輩の指導・育成にも力を入れていく。



①防衛相会談の通訳を実施した出張先で ②防衛省留学の留学先の英国にてフラットメイト達と  
③大学在学時の交換留学先の友人達と ④大学在学時の交換留学先の米国にてルームメイト達と

## 大切なのは、「英語を使って 何をしたいのか」

### チャンスをつかみ、単身赴任で海外駐在

現在、私は花王株式会社の化粧品事業に従事し、そのなかでも「SENSAI」というプレステージブランドのマーケティングを手がけています。「SENSAI」は、40年以上前から欧州を中心に展開してきたブランドで、2019年からは日本、さらに2021年からは中国へも導入されました。この中国でのビジネス展開にあたって、私は今年3月末から単身赴任で上海に駐在。現地での指揮をとっています。

国際政治経済学部に入學した当時から、「いつかは海外に駐在して働きたい」という夢を抱いていたので、今回の上海駐在でまさしくそれが叶ったと思っています。ただ、すでに結婚しているため、会社側からオファーをもらったときは迷いがありました。夫は日本で働いていて、帯同は難しいですし、そろそろ出産も考えなくてはならない年齢です。辛い決断ではありましたが、「目の前にあるチャンスを逃したくない」という気持ちが先立ちました。当社でもまだ、女性が海外駐在に出る事例は決して多くないのですが、前例が少ないからこそ自分が先陣を切り、後輩女性たちの選択肢を広げていければと考えています。

### 日々、「異文化理解」の学びを実践

国際政治経済学部への進学を決めたのは、高校時代のアメリカ留学体験からでした。日本という国や文化が現地で知られていなかったことから、将来、日本の魅力を海外に伝える仕事に携わりたと思うようになったのです。入学してからは英語の講義が多いため、とにかく必死に勉強した記憶があります。高校までの授業と異なり、ここではインプットをしたうえでアウトプットを求められる。しかも使うのは英語なので作業量が2倍になるようなイメージでした。そんななかで気づいたのは、英語はただのツールであるということ。国際政治経済学部では、英語を学ぶというのではなく、「英語を使って何をしたいのか」を意識しながら学ぶのがおすすめです。

3・4年次には、末田清子先生の「異文化間コミュニケーション」のゼミに所属しました。「異文化」と言う海外での話だと思われかもしれませんが、実は日本国内でもコミュニティが異なれば違う文化・風土が生まれるもの。このゼミで、コミュニケーションに大切なのは相手への理解だと学び、現在も常に「異文化理解」を意識して仕事を進めています。長らく欧州向けのマーケティングに携わりましたが、中国は日本とも欧州ともまったく異なるアプローチが必要になる市場。部下も全員、中国人なので勝手が違いますが、相手の言葉に隠れた背景や考え方を理解し、こちらの方針についても相手が必要とするよう、わかりやすく話すことを心がけています。今後、私が真のグローバル・マーケッターとしてさらなる力を磨くにも、国際政治経済学部での学びが糧になるでしょう。皆さんにもぜひ、このグローバルな環境での体験を通じ、夢を叶えていただきたいと思います。



### Profile

2008年、国際経済学科卒業。花王グループの株式会社カネボウ化粧品に入社し、国内での営業職に約7年半携わる。2014年～15年に社内の海外研修制度でイギリス・スイスに赴任。その後、本社にて「SENSAI」ブランドのマーケティングに従事し、事業拡大に貢献。欧州・日本・中国を知るグローバル・マーケッターとして活躍中。

花王株式会社  
化粧品事業部門  
（中国化粧品事業プレステージ担当 上海駐在）

**小澤 絵里さん**  
[2008年卒業]



チームメンバーと  
新商品プロモーションの打合せ  
ミラノで実施した新商品発表会で  
商品のプレゼン  
チューリッヒ開催のマーケティング  
会議にて販促物の紹介  
会議後各国の  
ブランドマネージャーと会食

# 教員紹介

## 宗教主任

**左近 豊** 【旧約聖書学】
京都大学法学部卒。同大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。
**①**旧約聖書における都市崩壊後の哀歌、および嘆きの詩編の文芸学的研究。

## 国際政治学科

**阿部 達也** 【国際法学】
京都大学法学部卒。同大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。
**①**法規範の明確性と実効性を視座とする国際法理論の再構築。
**②**国際社会における法の支配

### 泉川 泰博

【国際関係理論、国際安全保障、アメリカ外交、定性的方法論】
京都大学法学部卒業。アメリカ ジョーンズホプキンス大学高等国際研究院(SAIS) 修士課程(国際関係学)修了。ジョージタウン大学大学院政治学研究科博士課程修了、Ph.D.(政治学)。
**①**同盟理論・リアリスト理論研究。冷戦から現在に至る北東アジア国際政治・アメリカ外交
**②**外交・国際安全保障問題の社会科学的分析

### 林 載桓

【比較政治学、中国政治】
ソウル大学社会科学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了、法学博士。
**①**現代中国の政治と外交。
**②**転換期中国の政治と経済

### 押村 高

【政治思想史】
早稲田大学政治経済学部卒。同大学院博士課程修了。政治学博士。パリ第二大学大学院に留学、DEA取得。
**①**グローバル化とアイデンティティの現在

### 倉松 中

【外交史、国際関係史】
国際基督教大学卒。早稲田大学大学院、英国キール大学大学院修了。ロンドン大学LSE大学院に留学。
**①**戦間期の日英米海軍軍縮交渉、日英同盟、国際連盟における国際武器取引撤消の試み等。
**②**国際関係史―「一国外交史」を越えて

**古城 佳子** 【国際関係論、国際政治経済論、国際制度論】
東京大学教養学部教養学科卒。同大学院修士課程修了、プリンストン大学大学院にてPh.D.(政治学)取得。
**①**国際政治と国際制度、経済外交、対外経済政策の形成。
**②**経済的相互依存と国際政治

**佐桑 健太郎** 【国際関係論、紛争研究】
京都大学文学部卒。アリゾナ州立大学大学院、インディアナ大学大学院修了、Ph.D.(政治学)。
**①**紛争と安全保障、計量政治分析
**②**国際関係の実証分析

**武田 興欣** 【政治学、アメリカ研究】
東京大学法学部卒。プリンストン大学大学院に留学、Ph.D.(政治学)取得。
**①**アメリカ連邦議会、アジア系アメリカ人について研究。
**②**現代アメリカ合衆国の政治と社会

**武田 健** 【国際関係論、EUの政治】
早稲田大学政治経済学部卒、同大学院政治学研究科修士課程修了、英国プリストル大学大学院博士課程にてPh.D.(政治学)取得。
**①**EUにおいて国家間協力が進展するメカニズムについての研究
**②**EU・欧州統合の研究

**田中(坂部)有佳子** 【比較政治学、国際関係論】
青山学院大学国際政治経済学部卒。コーネル大学大学院修了(MPA)。政府・国際機関等での勤務後、早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了、博士(政治学)。
**①**民主化、国家建設と暴力、平和構築、国際協力。

**藤重 博美** 【国際平和活動、平和構築】
同志社大学法学部卒業、ロンドン大学LSE修士課程修了、ロンドン大学SOAS博士課程修了。Ph.D.(政治学)。
**①**紛争や国内の不安定さに苦しむ国々の再生や安定、そうした国々に対する国際的な支援策。
**②**Global Governance and the Transformation of/in International Relations Exploring a variety of aspects of global society

**J. Patrick Boyd** 【比較政治学、国際関係論、日本政治】
コロンビア大学東アジア研究学部卒。マサチューセッツ工科大学大学院修士(M.S.)、博士(Ph.D.)(政治学)取得。
**①**戦後日本の政治と外交。
**②**Political Development in Japan and Asia

**和田 洋典** 【政治経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)修士、一橋大学大学院博士課程修了、法学博士。
**①**国際経済制度、中国・新興国の台頭。
**②**グローバルゼーションの政治経済学

**渡邊 理絵** 【気候エネルギー政治、政策過程論】
東京大学法学部卒。ベルリン自由大学Otto-Suhr Institut修了(政治学博士)
**①**(実証)気候エネルギー政治の日独米比較。
**②**政策転換(パラダイム転換)と環境政治

## 国際経済学科

**飯坂 ひとみ** 【国際経済学】
カリフォルニア州立大学サンタクルーズ校経済学部卒。同大学大学院、応用経済学部、M.S.取得。同大学大学院、国際経済学部、M.A.、Ph.D.取得。
**①**Multinational enterprises and the global economy
**②**Current topics in international economics

**内田 達也** 【応用ミクロ経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。
**①**社会課題に対する経済学的な解決法とデザイン的な解決法の統合
**②**社会・組織・私の問題の経済分析

**内山 義英** 【国際経済学、計量経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。
**①**日本の貿易構造の特性についての研究。
**②**日本経済および国際経済問題の実証的研究

**岡部 智人** 【公共経済学、政治経済学】
慶應義塾大学理工学部卒。オーストラリア国立大学大学院修了(Ph.D.)。一橋大学経済研究所を経て現職。
**①**政治・経済についての実証分析。
**②**実践的データ分析

**小橋 文子** 【国際貿易、貿易政策】
慶應義塾大学総合政策学部卒。同大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。
**①**国際的生産ネットワークをめぐる諸問題についての理論・実証研究。
**②**企業活動のグローバル化と通商政策

**加治佐 敬** 【開発経済学、農業経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。ミシガン州立大学大学院Ph.D.。世界銀行、国際開発高等教育機構、政策研究大学院大学、国際稲研究所を経て現職。
**①**近代化と村落共同体の変容。
**②**経済発展と社会の変容

**沈 承揆** 【労働経済学】
ソウル大学経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院に留学、Ph.D.取得。東京大学経済学部講師。
**①**失業、賃金構造、人的資本形成など、労働市場の分析
**②**Understanding Contemporary Economic Issues and Policies

**瀬尾 佳美** 【環境経済学】
大阪大学理学部卒。クラーク大学大学院環境科学・政策学科修士課程修了(MA)。筑波大学大学院博士課程修了、博士(都市・地域計画)。
**①**環境リスクの研究。
**②**環境経済学、環境リスク学

**武田 朝美** 【開発経済学】
青山学院大学経営学部卒業。同大学院国際マネジメント研究科修士課程修了。政策研究大学院大学政策研究科博士後期課程修了、博士(政策研究)。
**①**アジアにおける産業発展、及びインフラが貧困に与える影響に関する実証研究

**竹田 憲史** 【金融】
早稲田大学政治経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院Ph.D.取得。日本銀行金融研究所を経て現職。
**①**国際金融、中小企業金融についての理論・実証研究。
**②**日本と国際政治経済

### 鶴田 芳貴

【産業組織論】
青山学院大学国際政治経済学部卒。筑波大学大学院博士課程修了、博士(社会経済)。
**①**競争政策に関連する実証分析。
**②**企業活動や規制・産業政策・競争政策に関するデータ分析

### 友原 章典

【国際経済学】
早稲田大学政治経済学部卒。ジョーンズホプキンス大学大学院Ph.D.取得。世界銀行や米州開発銀行にてコンサルタントを経験。
**①**移民、貿易、海外直接投資
**②**グローバル経済が直面する諸問題について「移民の経済学」と「幸福の経済学」

**中川 浩宣** 【国際金融、国際マクロ経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院M.B.A.、コロンビア大学大学院Ph.D.取得。
**①**国際マクロ・金融(international macroeconomics and finance)分野における理論・実証研究。
**②**モデルとデータを用いた理論的考察・実証的分析

**野村 親義** 【経済史】
東京大学農学部卒、東京大学大学院農学・生命科学学研究科博士課程修了(博士(農学))。
**①**帝国支配とインドの経済発展。
**②**グローバルな視点から学ぶ経済史

**藤田 幸一** 【農業経済学、開発経済学、南アジア・東南アジア地域研究】
東京大学農学部農業経済学科卒業。東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。東京大学・博士(農学)。

**①**南アジア・東南アジアの経済発展と農村社会の変動
**②**アジア開発途上国の農村社会経済開発を学ぶ

## 国際コミュニケーション学科

**井川 肇** 【理論言語学(生成文法)】
国際基督教大学卒。カリフォルニア大学アーバイン校大学院留学、Ph.D.取得。
**①**生成文法の枠組みの下での日英語の比較研究を行っている。
**②**人間言語の成り立ちと仕組み

**Richard Evanoff** 【比較文化】
シカゴ大学大学院修了。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。
**①**環境哲学、異文化倫理学、異文化ダイアログを研究。
**②**国際倫理学

**抱井 尚子** 【多文化心理学、混合研究法】
青山学院大学国際政治経済学部卒。ハワイ大学大学院よりPh.D.取得。
**①**文化とコミュニケーション。研究法。がん患者の心理社会的問題で海外との共同研究を実施。
**②**多文化社会の諸相

**勝又 恵理子** 【異文化コミュニケーション、多文化教育】

ヒューストン大学クリアレイク校卒。同大学院修了(MA)。クレアモント大学院大学およびサンディエゴ州立大学大学院よりPh.D. 取得。
**①**グローバル教育、異文化コミュニケーション能力養成のための教育法
**②**多文化社会における異文化コミュニケーション

**狩野 良規** 【イギリス文学、演劇学、映像論】
東京外国語大学卒。同大学院修了。
**①**シェイクスピアの歴史劇、イギリスおよびヨーロッパの映画。
**②**イギリス・ヨーロッパ文化研究

**國分 俊宏** 【フランス文学】
早稲田大学第一文学部卒。同大学大学院修了。パリ第3大学博士課程に留学し、文学博士号取得。
**②**表象文化論

**猿橋 順子** 【社会言語学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士後期課程修了、博士(国際コミュニケーション)。
**①**社会言語学、言語政策論。
**②**ことばと社会

**末田 清子** 【異文化コミュニケーション、対人コミュニケーション】
立教大学社会学部卒。カンザス大学大学院およびカリフォルニア州立大学フラトン校大学院修了(MA)。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。
**①**研究テーマはアイデンティティ、フェイス(面子)とコミュニケーション。
**②**異文化コミュニケーション

**田崎 勝也** 【次文化圏、異文化コミュニケーション、心理學】
ハワイ大学大学院修了、Ph.D.取得。
**①**「こころと文化」をテーマに、比較文化の観点から量的研究を行っている。
**②**対人コミュニケーションゼミ

**陳 継東** 【中国思想文化と仏教学】
北京大学卒。東京大学博士(文学)。
**①**近代中国の思想・宗教、および日中交流史。
**②**中国の社会と文化

**西村 康平** 【理論言語学、音韻論】
国際基督教大学卒。東京大学総合文化研究科より博士号取得。
**①**言語の発音に関するバリエーション、語彙クラス、普遍性。
**②**自然言語の音声・音韻研究

**橋本 秀美** 【中国文献学、学術史】
東京大学文学部卒。北京大学中文系博士。
**①**中国文献学、学術史。
**②**中国古典思想と現代社会

**Petr Podalko** 【ロシア語教育、歴史学(言語文化学)】
ノボシビルスク大学卒。同大学院歴史学専攻博士課程。大阪大学大学院博士課程修了。言語文化学博士。
**①**ユーラシア研究・移民問題・映画史等。
**②**東西を一致にしたユーラシア大陸の歴史と文化論、その過去と現在

**渡邊 千秋** 【スペイン現代史】
上智大学大学院修了。スペイン国立放送大学大学院より博士号取得(史学)。
**①**20世紀スペインにおける社会心性。
**②**現代スペイン社会を文化横断的に考える

## 兼任

**岩井 千明**
慶応義塾大学法学部卒。青山学院大学大学院修士課程修了。横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程修了、博士(経営学)。
**②**企業経営と価値創造そしてアート

### 中里 宗敬

東京工業大学工学部卒。同大学院修士課程修了。
**②**証券市場の分析